

婦人関係資料シリーズ

参考資料 No. 55

主婦の自由時間に関する意識調査
結 果 速 報

157

労働省婦人少年局

目 次

はしがき

I 調査の概要	1
---------	---

II 調査の結果	1
----------	---

1. 主婦の年齢	1
----------	---

2. 主婦の職業	2
----------	---

3. 家事以外の労働時間	2
--------------	---

4. 家事についやす時間	3
--------------	---

5. 自由時間	4
---------	---

6. 自由時間の内容	5
------------	---

7. 家事は楽になったか	7
--------------	---

8. 時間のよゆうができてきたか	7
------------------	---

9. 自分の時間がもつと作れるか	9
------------------	---

10. 気がねをするか	9
-------------	---

11. 暮しのいそがしさ	10
--------------	----

12. 主婦と夫とどちらがひまが多いか	11
---------------------	----

13. 自由時間の使い方についての意見	12
---------------------	----

14. 生活の張り合い	13
-------------	----

は し が き

婦人少年局では、婦人の生活に関する基礎資料の一つとして、このほど「主婦の自由時間に関する意識調査」を行いました。近く第11回婦人週間を実施するにあたって、週間用資料の一つとしてこの調査の結果の一部をとりまとめました。今回の婦人週間のテーマとしてとりあげた「婦人の自主性の確立」ということに関連してこの資料が何かの参考になれば幸と存じます。

なお、この調査の結果についての詳しい報告書は数ヵ月後に刊行となる予定ですが、この速報に用いた集計結果の数字は、今後の調整によつて多少の修正が加えられることも予想されますので、その点をお含みの上利用していただきたいと存じます。

昭和34年3月

労働省婦人少年局

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は主婦が家庭生活の中で自由時間をどの程度にもっており、またそれがどのように使われているかなどの実態をみるとともに、自由時間の問題についての主婦自身の考え方を明らかにする目的で行った。

2. 調査地点

層別無作為抽出によつて全国から50の市町村を選定した。区部8地点、市部28地点、郡部14地点がえられた。

3. 調査の対象者

有夫の既婚婦人 全国2,000名（1地点40名ずつ）

但し、回収数1,871名

4. 調査対象者のえらび方

調査地点にえられた50市町村のそれぞれをさらに層別し、人口比例法によつて各地点から2地域を調査地域として選び出し、各調査地域の住民票の中から夫と同居する婦人20名を無作為に抽出した。

5. 調査の方法 面接法

6. 調査時期 昭和34年1月下旬～2月上旬

II 調査の結果

1. 主婦の年齢

調査の対象となつた主婦（有配偶女子）の年齢分布は第1表のとおりである。すなわち、30才台がもつとも多く全体の34%で、40才台がこれに次ぎ27%、20才台、50才台は20%以下、60才以上は5%で少い。区部、市部、郡部別にみた分布の割合はほとんど差がないが、ただ60才以上が区部においては2%と他の地域より可成り少くなっている。

（年 令）

	総 数		～29才	30才台	40才台	50才台	60才～
	実 数	%					
全 国	1,871	100	20	34	27	14	5
区 部	299	100	21	35	28	14	2
市 部	1,044	100	19	33	26	15	6
郡 部	528	100	20	34	27	14	5

2. 主婦の職業

全対象者の60%が収入源となる何かの仕事をもっている。地域別にみた有職者の割合は、区部40%、市部60%、郡部80%で都市部ほど無職のものが多くなっている。有職者の職業別分布をみると、もつとも多いのは農林漁業従事者で、全対象者の25%、有職者全体の40%を占めており、郡部では対象者全体の約60%、有職者全体の70%に及んでいる。区部と市部の有職者のうちでは内職に従事するものがもつとも多い。(区部16%、市部15%)

(職業)

	総数		自 営 者				雇用者	家族従事者		内職	無職	不明
	実数	%	農林漁業	商工業	サービス業	自由業		農林漁業	非農林漁業			
全 国	1,871	100	6	5	2	0	8	18	7	13	40	0
区 部	299	100	—	4	2	1	9	—	7	16	61	—
市 部	1,045	100	4	7	3	0	9	10	8	15	43	1
郡 部	528	100	13	2	1	0	5	44	7	7	21	—

注 0%は0.5%以下、—は一人もないことを示す。

3. 家事以外の労働時間

問 家事以外の仕事のために一日平均何時間位使いますか(一年のうち、とくにいそがしい時期と、比較的ひまな時期があれば、両方について答えて下さい)?

時期によつて一日の労働時間に相当のひらきのあるものが、各職業を通じて多い。繁忙期における労働時間をみると、農林漁業従事者(自営及び家族従業)と非農林漁業自営者は、平均10時間半から11時間働いており、雇用者は9時間半、非農林漁業の家族従業者と内職者は約8時間の労働を行つている。ひまな時期の労働時間は、繁忙期のそれよりどの職業でも平均4時間から5時間短い。時期によつて労働時間がとくに変わらない人々の一日に働く時間は、各職業別の平均では、いそがしい時期とひまな時期のほぼ中間となつている。

(家事以外の労働時間)

			計	時間 0	時間 1~2	時間 3~4	時間 5~6	時間 7~8	時間 9~10	時間 11~12	時間 13~14	不明	無回答	平均 時間(分)	
自 営	農林漁業	繁忙のある人	忙しい時 ひまな時	97	— 9	— 13	2 19	7 24	14 28	19 1	53 —	2 —	— 3	4	10.50 4.40
		何 時 も 同 じ		10	—	1	3	1	4	1	—	—	—		5.40
		非漁 農林業	繁忙のある人	忙しい時 ひまな時	62	— 7	1 8	2 7	5 14	13 10	10 11	22 2	9 —	— 3	4
	何 時 も 同 じ		84	—	3	9	22	14	15	19	2	—		8.10	
	雇 用		繁忙のある人	忙しい時 ひまな時	52	— 12	— 2	1 3	2 5	13 23	23 5	13 —	— —	— 2	2
		何 時 も 同 じ		95	—	1	2	5	66	14	6	—	1		7.50
家 族 従 業		農林漁業	繁忙のある人	忙しい時 ひまな時	294	— 25	— 40	7 51	14 81	38 78	107 14	124 —	4 —	— 5	1
	何 時 も 同 じ		40	—	6	10	3	5	8	7	—	1		6.50	
	非漁 農林業		繁忙のある人	忙しい時 ひまな時	59	— 4	1 12	8 13	8 13	15 7	16 1	11 —	— —	— 9	1
		何 時 も 同 じ		78	—	10	14	20	11	11	9	1	2		6.30
		内 職	繁忙のある人	忙しい時 ひまな時	122	— 29	4 21	6 36	30 23	40 13	25 —	15 —	2 —	— 3	9
	何 時 も 同 じ		107	—	18	31	29	16	11	2	—	—		5.05	

注、数字はすべて実数である。

4. 家事についてやす時間

問 あなたは炊事や洗濯などの家事の仕事のために一日に何時間位使つていらつしやいますか?

回答の結果は次の通りである。すなわち、3~4時間乃至5~6時間を家事に費すと答えたものがもつとも多く、全体の70%を占めている。職業別にみると、無職のもの、とくに区部と市部の無職の主婦は、家事に費す時間の長いものが多いのに対して、雇用者と商工業など非農林漁業の自営者は概して家事時間が短く、1~2時間程度のものが20%をこえている。

(家事時間)

			総 数		0	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	不明
			実数	%		～1	1～2	3～4	5～6	7～8	9～10	11～	
計			1,871	100	2	0	12	36	31	12	3	2	1
地域別	区	部	299	100	2	0	10	30	40	10	2	4	2
	市	部	1,044	100	3	1	13	35	29	14	4	1	1
	郡	部	528	100	2	0	12	38	30	10	3	3	1
職業別	自営	農林漁業	111	100	2	2	14	40	30	8	2	1	—
		非農林漁業	150	100	5	—	25	45	16	6	2	1	1
	雇	用	149	100	3	2	22	46	24	2	—	—	1
	家族	農林漁業	335	100	1	—	16	42	28	9	2	1	1
		非農林漁業	138	100	6	1	15	41	24	6	6	—	1
	内	職	238	100	2	—	8	32	41	12	3	1	2
	計		745	100	2	0	7	27	36	18	5	4	1
	無職	区部	183	100	2	—	6	25	41	14	3	7	1
		市部	450	100	2	0	6	29	33	20	6	2	1
		郡部	112	100	2	—	11	20	36	15	6	8	2
	不明		5	100	—	—	20	20	20	40	—	—	—

5. 自由時間

問. あなたは仕事をしたり、ねたり、食べたりする時間以外に、くつろいだり、自由に好きなことのできる自分の時間、つまり余暇とか、ひまといった時間がありますか？一日に何時間位ありますか？

自分の時間が全く「ない」と答えたものは、全体の24%で、とくに商工業などの非農林漁業に従事する主婦たちに、自営のものも家族従業のものも含めて自分の時間のないものが多い。雇用者もまた同様である。

自分の時間のあるものは全体の76%であるが、無職のものはどの職業のものより自分の時間のあるものが多く、とりわけ区部と市部の無職の主婦は95%までが自分の時間をもっている。

自分の時間があるといったものについて、どの程度の時間をもっているかをみると、1～2時間か3～4時間のものがほとんどである。有職者と無職者の別でみると、有職者は1～2時間程度の自由時間をもつものが多く、無職のものは、1～2時間のものと3～4時間のものがほぼ同数あつて、5～6時間の自由時間をもつものも相当に多い。

(自由時間)

			総 数		ない	あ										不明
			実数	%		計	時間 1	時間 1-2	時間 3-4	時間 5-6	時間 7-8	時間 9-10	時間 11	不明		
計			1,871	100	24	76	2	37	24	8	2	1	1	4	0	
地域別	区	部	299	100	16	86	1	38	29	12	2	1	1	0	—	
	市	部	1,044	100	24	76	2	34	25	8	3	1	1	2	0	
	郡	部	528	100	27	73	2	42	18	7	2	1	0	1	0	
職業別	自営	農林漁業	111	100	16	86	1	53	24	3	1	1	1	1	—	
	自営	非農林漁業	150	100	39	62	3	32	20	4	—	—	—	3	—	
	雇	用	149	100	35	66	3	46	13	3	—	1	—	—	—	
業別	家族	農林漁業	335	100	27	71	3	42	18	5	2	0	—	1	0	
	家族	非農林漁業	138	100	58	42	1	32	26	—	1	1	—	1	—	
	内職		238	100	27	72	1	41	19	5	1	1	2	2	—	
別	無職	計	745	100	13	86	1	30	31	14	5	2	2	1	0	
	区	部	183	100	7	94	1	34	35	16	4	2	2	—	—	
	市	部	450	100	14	95	1	29	31	14	5	2	2	1	0	
	郡	部	112	100	16	84	—	30	26	14	5	4	1	4	—	
	不明		5	100	40	60	—	40	—	—	—	—	—	20	—	

6. 自由時間の内容

前問について、「その時間(自分の時間)に何をしますか」ときいたのに対して回答の結果は、「新聞や本をよむ」というものがもつとも多く、次いで「裁縫、あみもの、つくろいものなど」「子供の相手」「ラジオ」「雑談」「休息」という順になっている。地域別、職業別の相違はこういう分類の限りでは明らかでない。

(自由時間の内容)

自由時間のあるもの総数	100% (1428)
読書	53
裁縫、つくろいもの、あみもの	31
ラジオ	26
子供の相手	13
雑談	10
休息	9
テレビ	8
趣味	7
娯楽	3
その他	8

注 二つ以上の内容を答えたものがあるため、各項目の計は100%をこえる。

7. 家事は楽になったか

問 最近は家事の合理化ということがよくいわれますが、数年前にくらべて、お宅では、家事の仕事が楽になったと思いますか？

全対象者のうち家事が「楽になった」と答えたものが過半数の63%、「以前と変りない」といつたものが36%となっている。地域別にみても、職業別にみても、この割合に大差はみられないが、「楽になった」ものが比較的多いのは区部の無職者で73%、もつとも少いのは雇用者で52%である。

(家事は楽になったか)

		総数	数	楽になった	以前とか	その他	不明
		実数	%		わりない	(苦しくなった)	
地域別	計	1,871	100%	63%	36%	0%	1%
	区部	299	100	67	33	0	1
	市部	1,044	100	61	38	0	1
	郡部	528	100	66	33	1	0
職業別	自営	111	100	70	30	0	—
	農林漁業	150	100	71	27	0	1
	雇用	149	100	52	47	—	1
	家従	335	100	64	35	0	1
業内別	家業	138	100	69	31	—	—
	内職	238	100	57	41	2	0
	計	745	100	64	35	0	1
	無職	183	100	73	26	1	1
別	区部	450	100	60	39	—	1
	市部	112	100	63	37	—	—
	郡部	5	100	40	60	—	—
	不明						

8. 時間のよゆうができてきたか

問 (前問にひきつづき)時間の点ではどうですか、以前にくらべて時間のよゆうができてきたと思いますか？ その時間を何に使っていますか？

「よゆうができてきた」と答えたものは全体の53%で、「以前と変りない」と答えたものよりやや多いが、前問で「家事が楽になった」と答えたもの(63%)よりは少い。地域別、職業別にみると、やはり区部の無職者には「よゆうができてきた」というものが比較的多く59%、雇用者は一番少くて41%となっており、いずれも家事が楽になったものの割合に対応している。

「よゆうができてきた」と答えた人に、その時間をどう使ったかをきいた結果は、家業や内職に使ったものや働きに出たものが20%、教養、娯楽、趣味、休息など主として自分のことに使

つたものが40%家事、育児など主として家のことに使ったものが30%となっており、そのほか団体の仕事などの社会的活動にあてたものが極めて少数みられる。

(時間のよゆうができたか)

			総 数		よゆうが 出来た	以前とか わりない	その他	不 明
			実 数	%				
計			1,871	100%	53%	46%	1%	1%
地 域 別	区	部	299	100	56	41	2	1
	市	部	1,044	100	52	46	1	1
	郡	部	528	100	52	47	0	1
職 業 別	自 営	農林漁業	111	100	56	43	—	1
		非農林漁業	150	100	54	43	1	3
	雇 用		149	100	41	57	—	1
	家 族 従 業 者	農林漁業	335	100	50	49	1	1
		非農林漁業	138	100	54	44	1	1
	内 職		238	100	55	43	0	1
	無 職	計	745	100	54	43	1	1
		区 部	183	100	59	38	3	—
		市 部	450	100	54	44	1	1
		郡 部	112	100	47	52		1
	不 明		5	100	—	80	—	20

(時間のよゆうを何に使ったか)

よゆう時間のできたもの総数 100% (983)			
家業、内職、勤務	20	団体のしごと、集会、その他	
縫物、あみもの、その他の家事	18	社会的活動	1
子供の相手	8		
その他家のこと	3	そ の 他	5
		わからない	12
読書(新聞を含む)	12		
教 養	2		
休 養	13		
ラジオ、テレビ	4		
趣 味	4		
娯 楽	2		
その他自分のこと	2		

注 二つ以上の内容を答えたものがあるため、各項目の計は100%をこえる。

9. 自分の時間をもつと作れるか

問 あなたは自分の時間をもつと作ろうとすれば作れますか?

自分の時間をもつと作ろうとすれば“作れる”というものが全体の55%。“作れない”というものが44%で、“作れる”というもののほうが多い。職業別にみると、“作れる”というものは無職のものにもつとも多い(作れる64%、作れない34%)のに対して、“作れない”というものは有職者、とくに雇用者及非農林漁業従事者(自営及び家族従業)に多く、雇用者の場合、“作れない”ものが64%ある。これを自由時間の有無についてのさきの質問の回答結果と照し合せてみると、自由時間のないものが多い階層に、“作れない”というものもまた多いことが分る。

(自由時間をもつと作れるか)

			総 数		作れる	作れない	無回答
			実 数	%			
地 域 別	計		1,871	100%	55%	44%	1%
	区	部	299	100	53	46	1
	市	部	1,044	100	55	44	1
	郡	部	528	100	57	42	1
職 業 別	自 営	農林漁業	111	100	61	39	—
		非農林漁業	150	100	43	57	—
	雇 用		149	100	36	64	—
	家族従業	農林漁業	335	100	54	46	0
		非農林漁業	138	100	41	59	—
	内 職		238	100	56	44	1
別	無 職	計	745	100	64	34	2
		区 部	183	100	61	38	2
		市 部	450	100	64	34	2
		郡 部	112	100	70	27	3
	不 明		5	100	40	60	—

10. 気がねをするか

問 あなたはとくべつ用のないときに、自由にくつろいだり、好きなことをすることについて、

家の人に気兼ねをしますか?

誰に気兼ねをしますか?

対象者全体のうち“気兼ねをする”というものは16%で、“誰にも気兼ねをしない”というものが84%で大多数である。地域別では、都市部ほど気兼ねをするというものが少い(区部9%、郡部21%)。職業別にみると、農林漁業従事者はその他の有職者及び無職者に比べて“気兼ねをする”というものが多く、ことに家族従業者の立場で農林漁業に従事するもののうちでは31%

が「気兼ねをする」と答えている。気兼ねをする相手は、「夫の親」が一番多く、次いで「夫」「その他の家族」の順となっている。

(気兼ねをするか)

		総 数		気 兼 へ る							気兼ねしない	無回答
		実 数	%	計	夫に	夫の母に	その家の他家族に	その他	不明			
計		1,871	100%	16%	3%	9%	4%	1%	5%	84%	0%	
地域別	区 部	299	100	9	3	3	3	1	0	90	1	
	市 部	1,044	100	14	4	9	3	1	0	85	0	
	郡 部	528	100	21	5	14	4	1	0	79	0	
職 業 別	自営 農林漁業	111	100	24	5	16	5	2	—	75	1	
	自営 非農林漁業	150	100	12	3	7	1	3	—	87	1	
	雇 用	149	100	11	1	7	1	1	1	89	—	
業 別	家族 農林漁業	335	100	31	6	23	7	—	1	69	0	
	家族 非農林漁業	138	100	15	4	8	3	2	—	83	2	
	内 職	238	100	10	4	4	3	0	—	90	—	
別 職	無 計	745	100	10	3	5	3	1	2	90	—	
	区 部	183	100	9	3	2	3	1	—	91	—	
	市 部	450	100	10	3	5	3	7	2	90	—	
	郡 部	112	100	13	3	7	4	—	—	87	—	
	不 明	5	100	60	20	40	—	—	—	20	20	

注 気兼ねする相手は二項目にわたる場合があるので、合計は必ずしも「計」の数字と一致しない。

1.1 暮しのいそがしさ

問 いそがしさの点であなたは自分の暮らし方をどう思いますか？

「いそがしい」と答えたものは全対象者の42%で、「あまりいそがしくない」というものが45%、「むしろひま」または「ひますぎる」というものが約10%となっている。

地域別にみると、「いそがしい」というものは郡部ほど多く、「あまりいそがしくない」というものや「ひま」というものは都市部ほど多い。職業別にみると、内職者をのぞく他の有職者はいずれも半数以上が「忙しい」といっており、とくに雇用者は、「忙しい」というものが70%を占めている。

内職者については「忙しい」といっているものは36%で、他の有職者とくらべて忙しくないというものが多く、無職のものには忙しくないというものがなお一層多く、とくに区部では80%までが「忙がしくない」又は「ひま」と答えている。

(暮しのいそがしさ)

		総 数		いそ がしい	あまりい そがしく ない	むしろ ひま	ひま すぎる	その 他 無回答
		実 数	%					
計		1,871	100%	42%	45%	8%	3%	1%
地 域 別	区 部	299	100	33	57	8	2	—
	市 部	1,044	100	39	45	9	4	2
	郡 部	528	100	52	39	5	3	1
職 業 別	自 営							
	農林漁業	111	100	50	43	3	3	2
	非農林漁業	150	100	55	36	7	—	1
	雇 用	149	100	70	28	1	1	—
	家 族 業							
	農林漁業	335	100	60	35	2	1	2
	非農林漁業	138	100	50	44	3	—	3
	内 職	238	100	36	50	10	2	2
	無 計	745	100	24	55	14	7	0
	区 部	183	100	20	65	12	3	—
	市 部	450	100	26	51	13	8	1
	郡 部	112	100	24	52	15	9	—
	職 不 明	5	100	80	20	—	—	—
	自の自由時間別							
	有 無	1,429	100	33	51	10	4	1
	不 明	441	100	70	26	2	1	2
		1	100	—	—	—	100	—

1.2 主婦と夫とどちらがひまが多いか

問 一般に主婦のくらしと、夫たちのくらしをくらべてみて、どちらがひまが多いと思いますか？

対象者全体では、「主婦の方がひまが多い」「夫の方がひまが多い」「どちらともいえない」という三つの意見がほぼ同数となつていますが、地域別、職業別にみると、可成の相違がみられる。すなわち区部では「主婦の方がひま」というものが「夫の方がひま」というものより多いのに対して、郡部では「夫の方がひま」というものの方が多く、市部は両地域の中間で「主婦の方」と「夫の方」がほぼ同数となつている。職業別にみると、有職者は各職業を通じて「主婦の方がひま」というものより「夫の方がひま」というものの方が多く、とくに雇用者には「夫の方がひま」とみるものが多い。これに反して無職のものは「主婦の方がひま」というものが多い、とくに区部の無職のものは「主婦の方」というもの56%に対して「夫の方」というものは14%にすぎない。

(主婦と夫の忙しさ)

			総 実数	数 %	主婦の方が 多い	夫の方が 多い	どちらとも いえない	不 明
計			1,871	100%	33%	35%	32%	0%
地域別	区	部	299	100	44	23	33	—
	市	部	1,044	100	32	34	34	0
	郡	部	528	100	27	44	29	1
職業別	自営	農林漁業	111	100	21	40	40	—
	自営	非農林漁業	150	100	20	41	38	1
	雇用		149	100	23	51	26	—
家族別	家族	農林漁業	335	100	23	45	32	0
	家族	非農林漁業	138	100	28	35	38	—
	内職		238	100	33	35	32	0
業別	無職	計	745	100	45	24	31	0
	無職	区部	183	100	56	14	30	—
	無職	市部	450	100	42	24	34	0
別	職	郡部	112	100	37	41	21	1
	不明		5	100	20	60	20	—

13. 自由時間の使い方についての意見

問 主婦にひまがあれば、その時間はどう使うのがよいと思いますか？

ひまな時間の使い途としては「新聞や本をよむこと」「教養を高めるための勉強など」「内職など収入のための仕事」「子供の相手」「裁縫やあみもの」などがもつとも多くあげられ、そのほかにもいろいろな意見がのべられたが、それらの回答の内容を、主として自分のためのことと、家のためのこと、及び社会のためのことに大別してみると、家のためのことの部類に入るものもつとも多く、自分のためのことがこれに次ぎ、社会のためのこととしては、団体活動や社会奉仕などの意見が少数みられるのみである。

(自由時間の使い方についての意見)

		総数 100% (1871)		
読書、新聞	15	子供の相手	13	
教養、勉強	14	収入のある仕事	14	
休養	5	家事	5	
娯楽	4	家政技術研究	6	
趣味	6	その他家のこと	4	
ラジオ	3	小計	54	
その他自分のこと	2	グループ活動、集会	5	
小計	49	その他社会的活動	1	
裁縫、あみもの	12	小計	6	

注 二つ以上の内容を答えたものがあるため、各項目の計は100%をこえる。

14. 生活の張り合い

問 あなたは毎日の生活に張り合いがありますか？

全対象者のうち「大いに張り合いがある」ものが61%、「少しは張り合いがある」ものが32%、「ほとんど張り合いがない」ものが5%、「全く張り合いがない」ものが2%となっており、張り合いのあるものが大部分という結果がみられる。これを自由時間のあるものとならないものに分けてみると、職業をもっているものの場合にはどの職業のものも、自由時間のあるものはないものより「大いに張り合いがある」というものが多い。しかし無職のものについては、自由時間の有無と張り合いの程度とはほとんど関係がみられない。

(生活の張り合い)

			総 実数	数 %	大いに 張り合 いがある	少しは 張り合 いがある	ほとんど 張り合 いがない	全く 張り合 いがない	その他 無回答
計			1,871	100	61%	32%	5%	2%	1%
地域別	区	部	299	100	66	28	5	1	0
	市	部	1,044	100	62	30	5	2	1
	郡	部	528	100	55	37	5	2	1
職業の有無別	有職	自由時間有	778	100	65	29	4	1	1
		無	343	100	55	36	7	2	1
	無職	有	648	100	59	33	6	2	1
		無	96	100	61	24	8	5	1
		不明	1	100	—	100	—	—	—
	不明	有	3	100	100	—	—	—	—
		無	2	100	50	50	—	—	—